

# すてっぴ

練馬区立男女共同参画センターえーる 図書・資料室

NO.33 平成23年(2011年) 8月

〒177-0041 練馬区石神井町 8-1-10

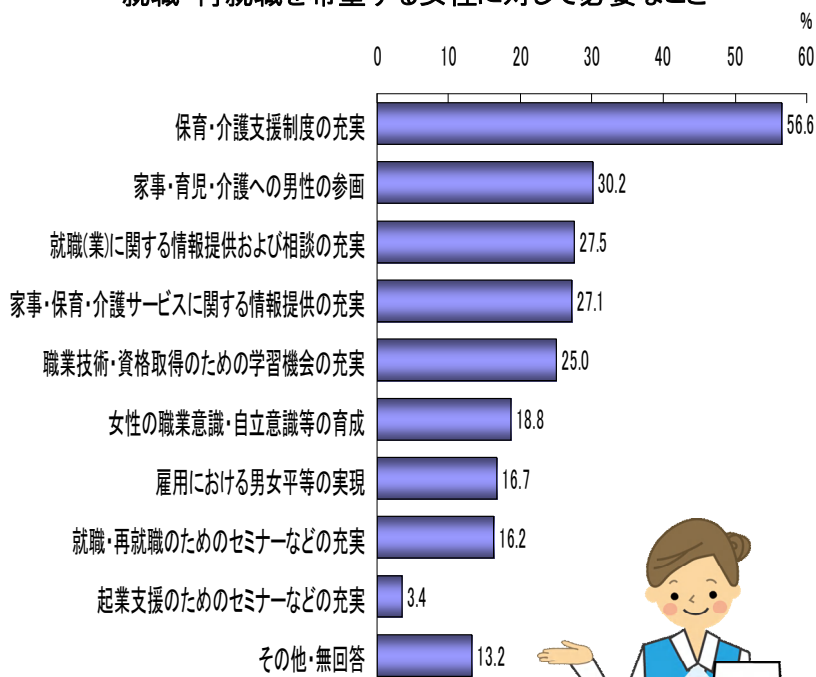
☎ 03 (3996) 9005 (代表)

http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keihatsu/jinkendanjo/sankakucenter/index.html

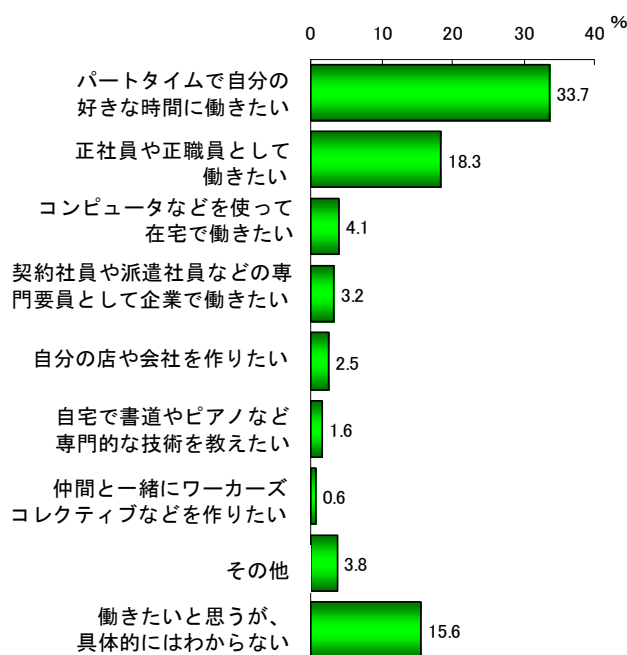
## 女性の就職☆再就職

練馬区は、「第3次練馬区男女共同参画計画」を策定し、男女ともに働きやすい環境づくりを進めるため、保育に関する施策や介護者への支援と介護サービスの充実に努めるとともに、仕事と生活の調和に向けた啓発、雇用環境の整備に向けて事業者の取組を支援するなどしています。また、女性の就労支援のため、再就職・能力開発などについて取組を進めています。

就職・再就職を希望する女性に対して必要なこと



今後の働き方



(出典：平成21年度練馬区女性の労働実態調査報告書)

## 女性の雇用状況

「女性労働の分析 2010年」(女性労働白書)によると、平成22年の労働力人口総数に占める女性の割合は42.0%、女性雇用者数は2329万人となり、いずれも過去最高となっています。産業別では、「医療、福祉」「宿泊業、飲食サービス業」等で増加しました。しかし、女性雇用者に占める非正規雇用(パート、アルバイト、派遣社員等)の割合も53.8%と過去最高となり、男女の賃金格差は拡大しました。また、雇用情勢の厳しさを反映してか、育児休業取得率は女性(83.7%)も男性(1.4%)も前年度に比べ低下しています。東日本大震災を機に、働き方の多様化が進み始めているなか、企業においても、女性の価値観や視点を生かすしくみづくりの取組が求められています。

## おもな再就職支援機関

### ◆ワークサポートねりま

ハローワーク池袋の協力による  
練馬区地域職業相談室  
所在地：練馬区石神井町 2-14-1  
石神井公園区民交流センター2F  
電話：03-3904-8609  
利用時間：月～金  
午前9時～午後5時

### ◆マザーズハローワーク東京

マザーズ&レディスのための国の職業紹介専門機関  
(<http://www.hw-shibuya.go.jp/mothers.html>)  
所在地：渋谷区渋谷 1-13-7 千秋ビル 3F  
電話：03-3409-8609  
利用時間：月～金 午前9時～午後5時  
土曜開庁(震災による当面の業務時間)

### ◆東京しごとセンター

東京都が設置した「しごとに関するワンストップサービスセンター」  
(<http://www.tokyoshigoto.jp/>)  
所在地：千代田区飯田橋 3-10-3  
電話：03-5211-1571  
利用時間：月～金 午前9時～午後8時  
土曜日 午前9時～午後5時

# 時代を拓いた女たち

にいじまやえ

**新島八重** 弘化二年(一八四五年)〜昭和七年(一九三二年)



あすの夜はいづくの誰かながむらむ  
馴れしみ空に残す月影

八重は弘化二年、会津藩の砲術師範であった父山本権八と母味の三女として生まれた。小さい頃から物おしせず快活で、「いつになったら娘らしくなるのだろう」と母を嘆かせていた。八重は、幕末の戊辰戦争時、会津鶴ヶ城に籠城して戦い、後に「幕末のジャンヌ・ダルク」と呼ばれる。入城する際には、鳥羽伏見の戦いで討ち死にした第三郎の形見の装束を着て男装、髪を断ち、大小両刀を腰につけ、七連発銃を担いでいった。兄の山本覚馬から砲術を学んでいたため銃撃にも参加し、また藩主の前で沈着冷静に、砲弾の構造や作用の説明をして周囲を驚かせたという。落城の夜、八重は白壁にかんざしで冒頭の歌を刻んで城を去る。二三歳の八重は、この混乱で最初の夫と生き別れとなった。

明治四年、父と弟を失った八重と母と姪の峰は、盲目となりながら洋学者として京都府の顧問となっていた兄を頼って京都へ行った。兄の感化をうけ、英語を学び、明治五年四月には、日本最初の女学校「女紅場」の舎監兼教師となる。その頃京都にキリスト教の学校を建てようとしていた新島襄は、頻繁に兄の覚馬の元を訪れていて八重と親しくなった。明治九年一月、二人は結婚。八重は京都では初の洗礼を受け、洋装でキリスト教風の結婚式をあげた。キリスト教が禁止となつてから二百余年、いまだ人々が恐れを抱いていた時代に、洗礼も洋装の結婚式も相当な勇気がなければできないことである。夫の西洋風の生活志向をすべて受け入れた八重だったが、洋装で帽子をかぶり、夫に手を引かれて一緒に人力車に乗る妻を、明治という時代は悪妻と呼んだ。

明治二三年、同志社を創立し大学昇格のために奔走していた襄は、志半ばで病に倒れ四八歳でこの世を去る。夫亡き後の八重は、日清戦争中篤志看護婦として傷病兵の看護に従事し、日露戦争には従軍した。その功績により皇族以外の女性として始めて叙勲を受けた。困難に負けず、常に前向きに生きてきた八重は、晩年茶道や華道への造詣を深め、穏やかな日々を送った。八六歳で没。

【参考図書】「会津鶴ヶ城の女たち」「新島襄とその妻」ほか

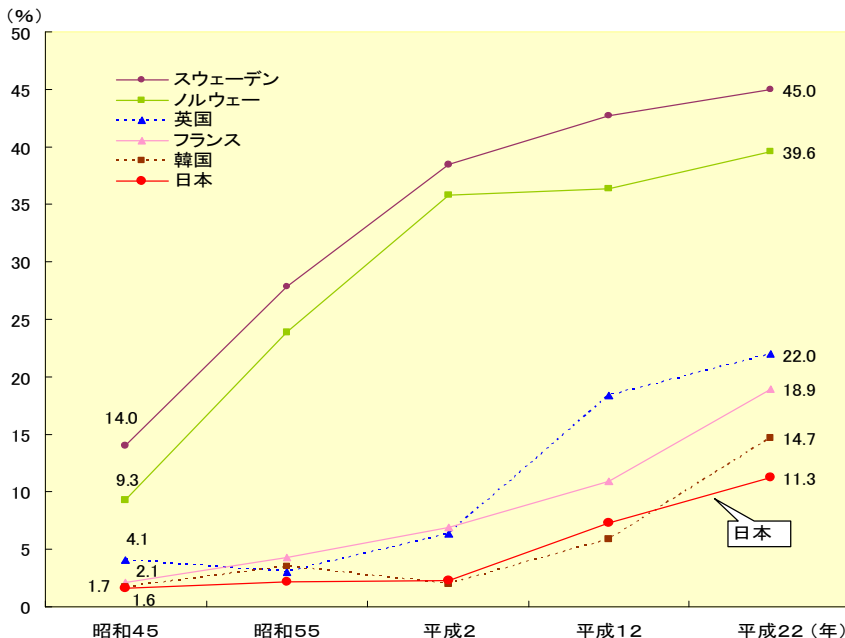


## 世界の政治分野における ポジティブ・アクション

女性に積極的に機会を提供する取組のこと  
(積極的改善措置)

世界の女性議員の割合は、着実に増加しています。(平成23年3月現在 19.2%)

日本も長期的には増加傾向にありますが、186か国中121位と政治分野における女性の参画状況は遅れています。諸外国における女性議員増加の要因は、各国の社会的状況の変化のほか、女性の政治参加の拡大に向けたポジティブ・アクションの導入があり、その手法としてクオータ制やパリテ法などがあります。日本では、ゴールド・アンド・タイムテーブル方式がとられています。



### ☆クオータ制

一定比率女性を割り当てること

- ①議席割当制
- ②候補者クオータ制  
(フランスではパリテ法)
- ③政党による自発的なクオータ制

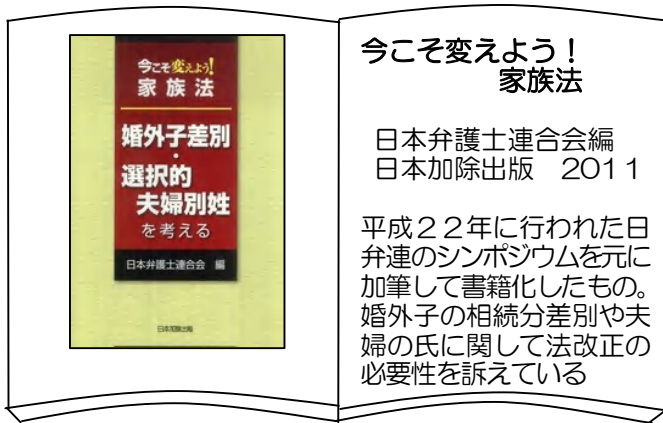
### ☆ ゴールド・アンド・タイムテーブル方式

一定目標と達成までの期間の目安を示して、努力すること  
日本の「社会のあらゆる分野において2020年までに、指導的地位に女性が占める割合を30%に」等の目標はこの方式

出典:「男女共同参画白書」平成23年版

# 新着図書

\* 6、7月分 (主なものを紹介します)

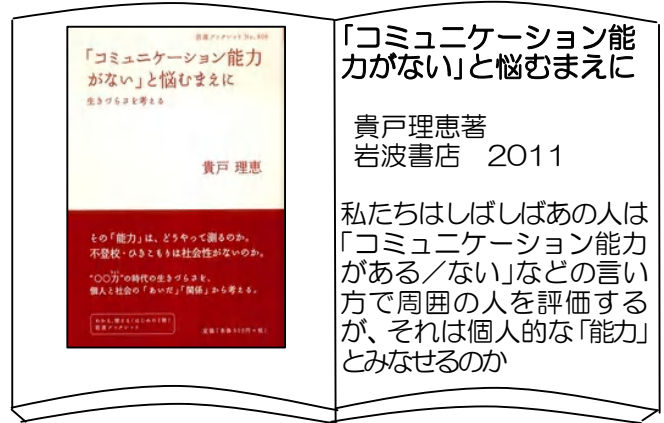


324

## 今こそ変えよう! 家族法

日本弁護士連合会編  
日本加除出版 2011

平成22年に行われた日弁連のシンポジウムを元に加筆して書籍化したもの。婚外子の相続分差別や夫婦の氏に関して法改正の必要性を訴えている



361

## 「コミュニケーション能力がない」と悩むまえに

貴戸理恵著  
岩波書店 2011

私たちはしばしばあの人は「コミュニケーション能力がある/ない」などの言い方で周囲の人を評価するが、それは個人的な「能力」とみなせるのか

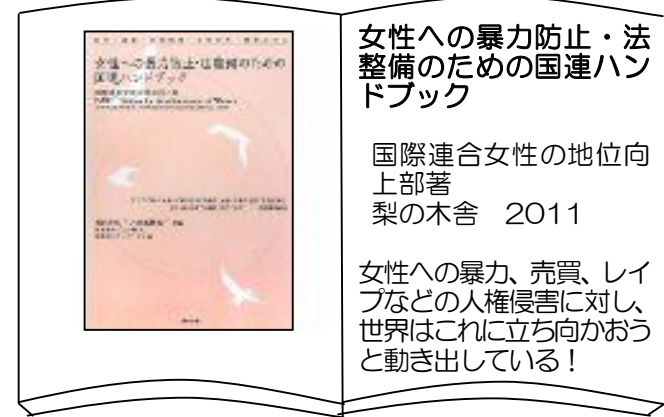


366.2

## 54歳のハローワーク+アラウンド 定年の就活ハンドブック

吉川紀子、竹内康代著  
集英社 2011

副題は「負けない、折れない 50代女子の仕事探し術」。前半は54歳の日航の元客室マネージャーが再就職するまでを、後半は就活の多様な事例を紹介

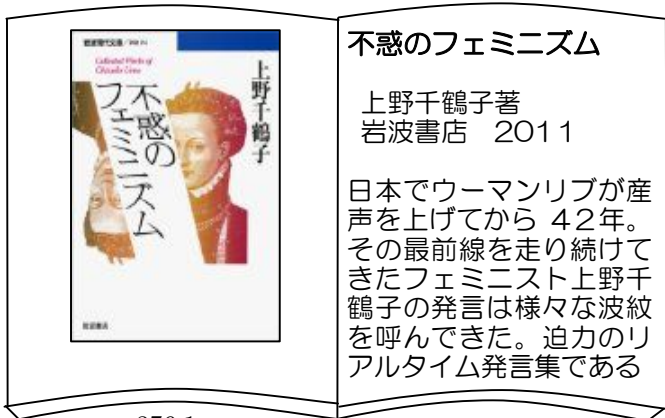


367.2

## 女性への暴力防止・法整備のための国連ハンドブック

国際連合女性の地位向上部著  
梨の木舎 2011

女性への暴力、売買、レイプなどの人権侵害に対し、世界はこれに立ち向かおうと動き出している!

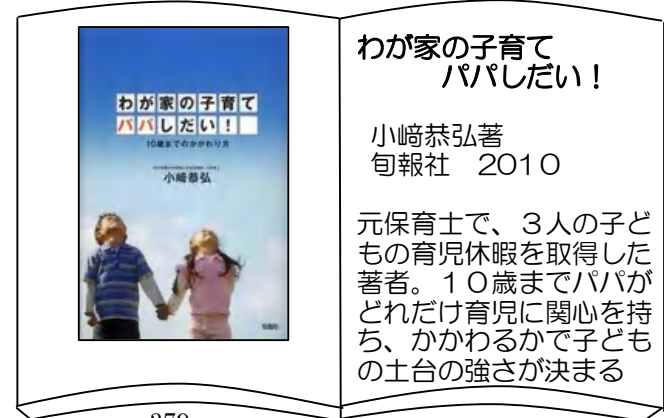


376.1

## 不惑のフェミニズム

上野千鶴子著  
岩波書店 2011

日本でウーマンリブが産声を上げてから42年。その最前線を走り続けてきたフェミニスト上野千鶴子の発言は様々な波紋を呼んできた。迫力のリアルタイム発言集である

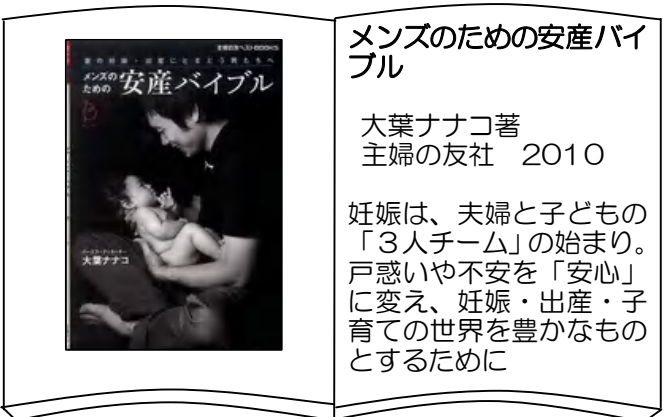


379

## わが家の子育て パパしたい!

小崎恭弘著  
旬報社 2010

元保育士で、3人の子どもの育児休暇を取得した著者。10歳までパパがどれだけ育児に関心を持ち、かかわるかで子どもの土台の強さが決まる

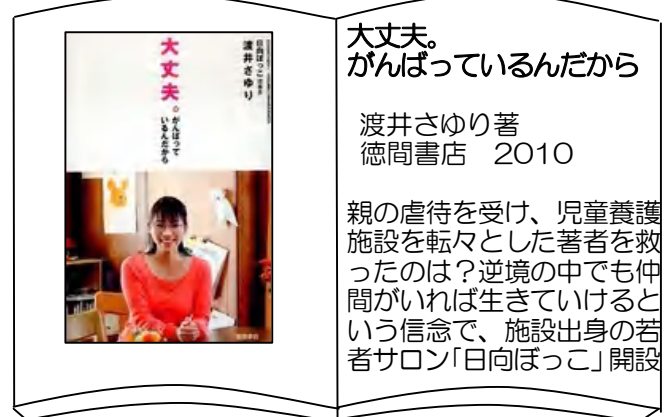


598

## メンズのための安産バイブル

大葉ナナコ著  
主婦の友社 2010

妊娠は、夫婦と子どもの「3人チーム」の始まり。戸惑いや不安を「安心」に変え、妊娠・出産・子育ての世界を豊かなものとするために



916

## 大丈夫。 がんばっているんだから

渡井さゆり著  
徳間書店 2010

親の虐待を受け、児童養護施設を転々とした著者を救ったのは? 逆境の中でも仲間がいれば生きていけるという信念で、施設出身の若者サロン「日向ぼっこ」開設

枠外の数字は分類番号



# にゅーすBOX



## 年金確保支援法 成立

国民年金加入者が、未納保険料を追納できる期間を現行の2年から10年に延長する法案が成立した。国民年金受給には保険料を最低25年納める必要があるが、近年はパートなど非正規労働者の加入が増え、未納が増えている。追納期間を10年に延長することで、未納者の追納を促し、将来低年金・無年金になる人を減らす狙いがある。しかし期間延長により未納がかえって増えるとの指摘もあるため、3年間の時限的な救済策で実施する。

## 育児休業取得率 低下

厚生労働省の平成22年度雇用均等基本調査によると、景気悪化などにより、女性も男性も前年度に比べ育児休業取得率が低下した。女性は83.7%、男性は1.4%。育休制度がある企業の割合は前年度に比べほぼ横ばいだったが、働く人が30人以上の事業所は90%で育休制度を取り入れていた。「ポジティブ・アクション」に取り組む企業も前回より低下して28.1%だった。

## 児童虐待 5万件

平成22年度に全国の児童相談所が対応した虐待の通報・相談件数は5万5152件で、前年度比28%の大幅な増加となった(宮城・福島県、仙台市は含まず)。厚生労働省では、昨年、大阪市内のマンションで幼い姉弟が放置されて死亡した事件などの影響で、虐待防止への関心が高まり、通報件数が増えたのではないかと分析している。

## 待機児童 4年ぶり減 来春保育所面積基準緩和

都は4月1日時点の都内保育所の待機児童数が、前年比580人減の7855人になったと発表。減少は4年ぶり。各自治体で保育施設の整備が進んだためと思われるが、人手がかかる0歳～2歳児の待機児童数は依然高水準である。

厚生労働省は、都市部の待機児童解消策として全国の35の市区を対象に保育所の設置基準の緩和を可能とした。来年の4月から3年限りの特例。面積が最低基準を下回っても受け入れられる子どもの数を増やしたりできる。

## 遊園地で節電! 練馬区

夏期電気使用ピーク時間帯の節電対策として、練馬区と区内遊園地「としまえん」が連携し、期間中毎日14時から、通常の半額以下の料金で施設を利用できる練馬区民限定チケット「ねりま夕涼みチケット14」を販売している。対象期間は8月1日～9月4日まで。

## 単身世帯 初めて3割超える

平成22年国勢調査の抽出速報集計によると、一人暮らし世帯の割合が初めて3割を超えた。未婚者や高齢者の増加が原因。病院や老人ホームなどの施設入居者を除いた世帯に占める一人暮らし世帯の割合は32.1%で、「夫婦と子どもからなる世帯」は28.7%だった。また、30歳～34歳で未婚の男性は46.5%、女性は33.3%と晩婚化・未婚化の傾向がより鮮明になった。

## 男女共同参画白書

政府は、「男女共同参画白書」平成23年版を了承した。社会の指導的地位に占める女性の割合を「2020年までに30%程度」とする政府目標達成に向けた見通しに関し「現状は十分とは言えない」と指摘。女性の割合を増やす手法としてクォータ制(人数割当制)導入などの対策の必要性を訴えた。

## 出生前診断での中絶倍増

日本産婦人科医会の調査によると、胎児の染色体異常などを調べる「出生前診断」で異常を診断された後、人工中絶したと推定されるケースが平成12年～21年までの10年間では、平成11年までの10年間に比べ、倍増していることがわかった。技術の進歩で妊婦が重大な選択に迫られている実態が浮き彫りになった。今後、妊婦には正しい知識、医師には適切な説明が求められる。

## 子ども手当 廃止へ

来年度からこども手当を廃止し、児童手当を復活させることで、民主、自民、公明3党は合意した。10月から来年3月までは子ども手当を継続し、6月からは世帯主の所得制限(960万円程度)を設けた児童手当とする。子ども手当への支給がなくなる世帯には、還付などの緩和措置を検討する。

## 貧困率 16%に上昇

厚生労働省は平成22年国民生活基礎調査を発表した。それによると、国民のうち、低所得の人の割合を示す「相対的貧困率」(平成21年)は16.0%となり、平成18年の前回調査より悪化した。非正規雇用労働者や、年金暮らしの高齢者らの増加が要因。また、65歳以上の高齢者のみの世帯が1018万8千世帯で、全世帯の20.9%に達した。

